## 情報学学位プログラム(博士後期課程)

## 情報学学位プログラム(博士後期課程)

科目番号	科目名	授業 方法	単位数	標準 履修 年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OBTW211	情報学セミナーa1	2	1. 0	1 • 2	秋ABC	随時		ラム博士後期課程	文理融合の学際的アブを表する目的のために導致を解決する人材を養成する目的のために、導致を解決する人材を養成する目的のために、導致性位プログラム後期課程に合いて研究指導補助資格を有する教員が情報学ので、自然で、主要を表する。 構成する個の学問分野の専門性に基づき、情報の究指導を対してクラム博士後期課程に所属で、会学生報の究にで、大きないでは、大きないで、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、まないでは、大きないないでは、大きないいでは、ないでは、大きないでは、大きないでは、大きないいでは、大きないでは、大きないいでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	日本語と英語で開講: 研究指導科目 オンライン(オンデマ ンド型)。オンライン (同時双方向型)
OBTW212	情報学セミナーa2	2	1.0	1 • 2	秋ABC	随時		ラム博士後期課程において研究指導	文理融合の学際的アプローチにより情報社会の諸 課題を解決する人材を養成する目的のために、情 報学学位プログラム後期課程において研究指導資 格及び研究指導補助資格を有する教員が情報学等 構成する個々の学問分野の専門性に基づき、情報 学学位プログラム博士後期課程に所属する学生の 研究指導をインタラクティンを形式でう。本教 事の目的は、受講生が研究の進捗状況を複数博士 家の目的は、受講生が研究の進捗状況を複数博士 の前で発表することで、研究室を超えた形で博会 の前で発表することで、研究室を超えた形で博会 を持つことである。情報学セミナーaは秋学期に 開講する。	日本語と英語で開講: 研究指導科目 オンライン(オンデマ ンド型). オンライン (同時双方向型)
OBTW213	情報学セミナーb1	2	1.0	1 • 2	春ABC	随時		ラム博士後期課程において研究指導	文理融合の学際的アプローチにより情報社会の諸 課題を解決する人材を養成する目的のために、情 報学学位プログラム後期課程において研究指導資 格及び研究指導補助資格を可等門性に基づき、 構成する個々の学問分野の専門性に基づき、学生の 学学位プログラム博士後期課程に所属する学生の 研究指導をインタラクティブな形式で行う。本教 学学は夢では、受講生が研究の進捗状況を複数物構工 のでの表表することで、研究室を超えた形で機会 の前で発表することで、研究室を超えた形で機会 を持つことである。情報学セミナーbは春学期に 開講する。	研究指導科目
OBTW214	情報学セミナーb2	2	1. 0	1 • 2	春ABC	随時		ラム博士後期課程	文理融合の学際的アプローチにより情報社会の諸 課題を解決する人材を養成する目的のために、情 報学学位プログラム後期課程において研究指導 格及び研究指導補助資格を有する教員基づき 構成する個々の中間分野の専門性に基づき、情報 学学位プログラム博士後期課程に所属する学生の研究指導をインタラクティブな形式で行う。本長 業の目的は、受講生が研究の進捗状況を複数教博士 の前の任務の研究についてアドバイスを得る機会 を持つことである。情報学セミナーbは春学期に 開講する。	日本語と英語で開講: 研究指導科目 オンライン(オンデマンド型). オンライン (同時双方向型)
0BTW231	研究インターンシップ	2	2. 0	2	春ABC	応談		小泉 公乃, 高久 雅生, 松村 敦	国際研究機関、国立研究所、企業の研究所、大学の研究変等、所属する学位プログラム以外の組織で研究活動に従事する。研究テーマは受け入れ先の指示に従う。最先端の研究に参加する機会を得るほか、共同研究を経験することにより、研究者同士の議会が力や成果のまとめ方に様々なスタイルがあることを学び、研究に貢献する。研究インターンを募集している研究機関に応募するほか、個別に受け入れを交渉してもよい。	オンライン(同時双方
OBTW232	研究指導実践	2	2. 0	2	秋ABC	応談		池内 淳. 宇陀 則 彦. 藤澤 誠. 若林 啓	将来、大学教員になって研究指導を行うことを想定し、学群生の卒業研究指導を当該指導教員の監督下で行う。前半の講義で研究指導に様々なスタイルがあることを学び、卒業研究の研究指導の流れと要点について理解する。後半の演習で、学群生のプレゼンテーションや論文の執筆に関わりながら実際に学群生の研究指導を経験し指導スキルを修得する。	実践指導科目 オンライン(オンデマ ンド型). オンライン
0BTW233	PBL	2	2. 0	1	春ABC	応談		加藤 誠, 歳森 敦, 真榮城 哲也	専門職につくことを想定し、問題解決型の演習を行う。課題発見および課題設定は履修生が行うことを原則とし、ブロジェクト進行は、PDCみサイクルにのっとって管理する。研究の段取りを自ら行い、進捗状況に応じてスケジュールの修正を行い、一定の成果を出すことを目的とする。担当教員に定期的に報告を行い、アドバイスをもらう。	オンライン(オンデマ ンド型). オンライン

情報学総合演習Ia	2	1.0	1	春ABC	応談	宇陀 則彦 情報学 学位プログラム (博士後期課程)担 当教員	メディアの特性を活かしたデータ活用に関する理 輸と応用、コミュニケーションに焦点を当てた情 報利用に関する理論と応用、社会基盤としての知 識資源のマネジメントに関する理論と応用に関し て、研究の実践、指導を行い、メディアサイエン ス、情報インタラクション、図書館情報学につい て博士論文の指導を行う。情報学総合演習1aは1 年次を標準履修年次とし、春学期に開講する。	
情報学総合演習Ib	2	1.0	1	秋ABC	応談	宇陀 則彦,情報学 学位プログラム (博士後期課程)担 当教員	メディアの特性を活かしたデータ活用に関する理論と応用、コミュニケーションに焦点を当てた情報利用に関する理論と応用、社会基盤としての知識資源のマネジメントに関する理論と応用に関して外での実践、指導を行い、メディアサイエンス、情報インタラクション、図書館情報学について博士論文の指導を行う。情報学特別総合Ibは1年次を標準履修年次とし、秋学期に開講する。	
情報学総合演習IIa	2	1.0	3	春ABC	応談	学位プログラム	メディアの特性を活かしたデータ活用に関する理論と応用、コミュニケーションに焦点を当てた情報利用に関する理論と応用、社会基盤としての知識資源のマネジメントに関する理論と応用に関して、研究の実践、指導を行い、メディアサイエンス、情報インタラクション、図書館情報学について博士論文の指導を行う。情報学特別演習 II al は3年次を標準履修年次とし、春学期に開講する。	研究指導科目 その他の実施形態
情報学総合演習IIb	2	1.0	3	秋ABC	応談	宇陀 則彦,情報学	メディアの特性を活かしたデータ活用に関する理論と応用、コミュニケーションに焦点を当てた情報利用に関する理論と応用、社会基盤としての知識資源のマネジメントに関する理論と応用に関して、研究の実践、指導を行い、メディアサイエンス、情報インタラクション、図書館情報学について博士論文の指導を行う。情報学特別演習IIbは3年次を標準履修年次とし、秋学期に開講する。	
情報学総合演習Ia	2	1.0	1	夏季休業中	応談	学位プログラム	メディアの特性を活かしたデータ活用に関する理論と応用、コミュニケーションに焦点を当てた情報利用に関する理論と応用 社会基盤としての知識資源のマネジメントに関する理論と応用に関して、研究の実践、指導を行い、メディアサイエンス、情報インタラクション、図書館情報学について博士論文の指導を行う。	了予定者のみ受講可。 希望者は大学院教務ま で申し出ること。
情報学総合演習Ib	2	1.0	1	春季休業中	応談	学位プログラム	メディアの特性を活かしたデータ活用に関する理論と応用、コミュニケーションに焦点を当てた情報利用に関する理論と応用、社会基盤としての知識資源のマネジメントに関する理論と応用に関して、研究の実践、指導を行い、メディアサイエンス、情報インタラクション、図書館情報学について博士論文の指導を行う。	了予定者のみ受講可。 希望者は大学院教務ま で申し出ること。
情報学総合演習IIa	2	1.0	3	夏季休業中	応談	学位プログラム	メディアの特性を活かしたデータ活用に関する理論と応用、コミュニケーションに焦点を当てた情報利用に関する理論と応用、社会基盤としての知識資源のマネジメントに関する理論と応用に関して、研究の実践、指導を行い、メディアサイエンス、情報インタラクション、図書館情報学について博士論文の指導を行う。	了予定者のみ受講可。 希望者は大学院教務ま で申し出ること。
情報学総合演習IIb	2	1.0	3	春季休業中	応談	学位プログラム	メディアの特性を活かしたデータ活用に関する理論と応用、コミュニケーションに焦点を当てた情報利用に関する理論と応用、社会基盤としての知識資源のマネジメントに関する理論と応用に関して、研究の実践、指導を行い、メディアサイエンス、情報インタラクション、図書館情報学について博士論文の指導を行う。	了予定者のみ受講可。 希望者は大学院教務ま で申し出ること。
グローバル研究演習 IIIa	2	1.0	1	春ABC	応談	三河 正彦,情報学	国際学会で発表を行うためのスキルを総合的に修得することを目的とする。発表の準備として、発表資料の作成、ブレゼンテーションの実習を行う。国際学会において発表を行うとともに、関連研究の発表を聴講し、研究の視野を広げる。 学会終了後の発表の振り返りを通じて自己評価を行い、興味を持った発表に関する報告書を作成する。グローバル研究演習!!!は1年次生を対象として開講する。	員が指示する: (1)標準 在籍期間の3年間で3回 の「筑波大学海外留学 支援事業(はばたけ!筑 大生)」優先申請を認 める: (2)研究指導
グローバル研究演習 IIIb	2	1.0	1	秋ABC	応談		国際学会で発表を行うためのスキルを総合的に修 得することを目的とする。発表の準備として、発 表資料の作成、プレゼンテーションの実習を行 う。国際学会において発表を行うとともに、関連 研究の発表を聴講し、研究の視野を広げる。学会 終了後の発表の振り返りを通じて自己評価を い、興味を持った発表に関する報告書を作成す る。グローバル研究演習IIIは1年次生を対象とし て開講する。	員が指示する: (1)標準 在籍期間の3年間で3回 の「筑波大学海外留学 支援事業(はばたけ!筑 大生)」優先申請を認 める: (2)研究指導
	情報学総合方演習Ib 情報学総合方演習IIb 情報学総合方演習IIb 情報学総合方演習IIb 「情報学総合方演習IIb 「情報学総合方演習III」 「グローバル研究演習III」 「グローバル研究演習	情報学総合演習IIa 2 情報学総合演習IIa 2 情報学総合演習IIa 2 情報学総合演習IIa 2 ff報学総合演習IIa 2 ff報学総合演習IIIa 2 ff報学能分演習IIIa 2 ff報学能分演習用学能分演習IIIa 2 ff報学能分演習用学能分享用学能分享用学能分享用学能分享用学能分享用学能分享用学能分享用学能分享	情報学総合演習IIa 2 1.0 「情報学総合演習IIIa 2 1.0 「情報学総合演習IIIa 2 1.0 「プローバル研究演習 2 1.0 「	情報学総合演習IIa 2 1.0 1 情報学総合演習IIa 2 1.0 3 情報学総合演習IIa 2 1.0 1 情報学総合演習IIa 2 1.0 1 情報学総合演習IIa 2 1.0 1 1 情報学総合演習IIIa 2 1.0 3 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	情報学総合演習IIa 2 1.0 1 秋ABC 情報学総合演習IIa 2 1.0 3 春ABC 情報学総合演習IIa 2 1.0 1 夏季休業中 情報学総合演習IIa 2 1.0 1 春季休業中 情報学総合演習IIa 2 1.0 3 夏季休業中	情報学総合演習IIa 2 1.0 1 秋ABC 応談 情報学総合演習IIa 2 1.0 3 春ABC 応談 情報学総合演習IIa 2 1.0 1 夏季休業 中 応談 情報学総合演習IIa 2 1.0 1 春季休業 中 応談 情報学総合演習IIa 2 1.0 3 夏季休業 応談 情報学総合演習IIa 2 1.0 3 夏季休業 応談 「情報学総合演習IIa 2 1.0 3 春季休業 応談 「情報学総合演習IIa 2 1.0 1 春ABC 応談	情報学総合演習Ia 2 1.0 1 参A&C 応該 学位プログラム (領土後期課程)担当教員 情報学総合演習IIa 2 1.0 1 秋A&C 応該 学位プログラム (領土後期課程)担当教員 情報学総合演習IIa 2 1.0 3 参A&C 応該 学位プログラム (領土後期課程)担当教員 宇陀 別意 情報学学位プログラム (領土後期課程)担当教員 宇陀 別意 情報学学位プログラム (領土後期課程)担当教員 宇陀 別意 情報学学位プログラム (領土後期課程)担当教員 宇陀 別意 情報学 学位プログラム (領土後期課程)担当教員 宇陀 別意 情報学 学位プログラム (領土後期課程)担当教員 東陀 別立 グログラム (領土後期課程)担当教員 原稿学学位 (領土後期課程)担当教員 原稿学学位 (領土後期課程)担当教員 原稿学学位 (領土後期課程)担当教員 原稿学学位 (領土後期課程)担当教員 原稿学学位 (河北安)担当教員 原稿学学位 (河北安)担当教員 東陀 別意 (有報学化分演習IIa 2 1.0 3 原子休業 応該 学位 (河北安)担当教員 東陀 別意 (有報学化 河北安)担当教員 東陀 別意 (有報学工 河北安)担当教員 東京位 河北安)担当教育 東京位 河北安) 東京在 河	情報学科合演習   2   1.0   1   京ABC   京談   京談   京談   宗政   宗政   宗政   宗政   宗政   宗政   宗政   宗

OBTW273	グローバル研究演習IVa	2	1.0	2	春ABC	応談	学位:	正彦, 情報党 プログラム 後期) 指導者	得することを目的とする。発表の準備として、発表資料の作成、プレゼンテーションの実習を行う。国際学会において発表を行うをともに、関連な研究の発表を聴講し、研究の発表を聴講し、は、関連を行うを分別を通じて自己評価を行い、興味を持った発表に関する報告書を作成す	履修対象者は主担当教 員が指示する:(1)標準 在籍期間の3年間で3回 の「筑事業(はだけ!筑 大生)」優先申詩を認 める: (2) 研究指導 科目(ただし修了要件には含まれない) その他の実施形態
OBTW274	グローバル研究演習IVb	2	1.0	2	秋ABC	応談	学位:	正彦. 情報号 プログラム 後期) 指導者	得することを目的とする。発表の準備として、発表資料の作成、プレゼンテーションの実習を行う。国際学会において発表を行うをともに、関連を研究の発表を聴講し、研究の発表を聴講し、は、関連を行りなりを通じて自己評価を行い、興味を持った発表に関する報告書を作成す	履修対象者は主担当教 員が指示する: (1) 標準 在籍期間の3年間で3回 の「筑変大学海外留学 支援事業(はばたけ! 筑 大生)」優先申請を記 める: (2) 研究指導 科目(ただし修了要件には含まれない) その他の実施形態
OBTW275	グローバル研究演習Va	2	1.0	3	春ABC	応談	学位:	正彦, 情報 <sup>呉</sup> プログラム 後期) 指導拳	表資料の作成、プレゼンテーションの実習を行 う。国際学会において発表を行うとともに、関連 4 研究の発表を聴講し、研究の視野を広げる。学 終了後の発表の振り返りを通じて自己評価を行 い、興味を持った発表に関する報告書を作成す	履修対象者は主担当教 員が指示する:(1)標準 在籍期間の3年間で3回 の「筑波大学海外留等 支援事業(はばたけ)留筑 ある: (2)研究指導 科目(ただし修了要件 には含まれない) その他の実施形態
0BTW276	グローバル研究演習Vb	2	1.0	3	秋ABC	応談	学位:	正彦, 情報与 プログラム 後期) 指導教	表資料の作成、プレゼンテーションの実習を行う。国際学会において発表を行うとともに、関連 5	員が指示する: (1)標準 在籍期間の3年間で3回 の「筑波大学海外留学 支援事業(ははたけ!筑 援先)」優先申請を認 める: (2) 研究指導
OBTW291	ジョブ型研究インター ンシップ	3	2. 0	1 • 2	通年	随時	宇陀	則彦	指導教員の指導の下、ジョブ型研究インターンシップ制度にエントリーし、企業でジョブ型研究インターンシップを実施する。これにより、進路の可能性を広げ、自らの専門性を客観的に確認し、アカデミアに進んでも生きる研究力に裏打ちされた実践力を涵養することを目的とする。	研究指導科目 (ただし 修了要件には含まれない) その他の実施形態